



# JTUC-TOKUSHIMA 連合徳島

vol. 257

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1  
徳島県労働福祉会館内  
tel. 088 (655) 4105  
fax. 088 (655) 4113  
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp  
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行: 日本労働組合総連合会徳島県連合会  
編集責任者 森本佳広

### 当面の日程

- ◎ 5月25日(月)
  - ・徳島県中小労働対策本部とNPO法人労働安全衛生センター 合同優良事業所見学会(橋火力発電所)
- ◎ 5月27日(水)
  - ・[STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現]キャンペーン第3弾(阿波観光ホテル)
- ◎ 5月30日(土)
  - ・連合徳島ボランティアサポートチーム養成講座(東消防署)
- ◎ 6月13日(土)
  - ・連合徳島ボランティアサポートチーム養成講座(東消防署)



未解決組合の春闘勝利に向け団結ガンバロー

連合徳島と春闘共闘会議は4月10日に徳島市のふれあい健康館で2015中小春闘勝利・未解決組合支援徳島総決起集会を開き、各構成組織から約100人が参加し、中小未解決組合の春闘勝利に向け氣勢を上げた。

冒頭、徳島県中小労働対策本部平井議長から「この間景気の動向とは裏腹に依然中小は厳しい状況が続いている。先行した大手組合では昨年以上の成果がでてきているが、私たち中小との格差がさらに拡大するのが現状である。」とあいさつ。

「春闘が今のスタイルにならなれば60年。労働組合はこれまで様々な局面で真摯に対応し、社会全体の安定と発展に貢献してきた。現在大きな課題は、デフレからの脱却、経済の好循環である。その為にも月例賃金の安定的かつ継続的な引き上げが必要である。」とあいさつ。

激励・連帯あいさつでは、

### 2015春季生活闘争

未解決組合

# 春闘勝利めざし

## 粘り強い交渉で社会全体の「底上げ・底支え」「格差是正」へ

連合本部安永副事務局長から「今春闘はどこに行っても盛り上がっている。2015春季生活闘争で闘う意思を示している組合数は、昨年の6271組合に対して、今年は、7878組合と激増している。したがって連合方針に沿った要求がなされている。回答を引き出した組合の広がりと、早期解決に向けた交渉の加速が見られる。300人未満の中小組合では、回答を引き出した組合は1216組合と昨年同時期に比べ38組合増加し、回答額は5185円、2・08%となり、中小組合においても賃金引き上げが進んでいる。非正規労働者の賃上げは、時給で18・17円、月給は4237円となり、処遇改善の動きが波及している。連合は、大手と中小企業間の賃金格差や均等処遇といった「格差是正」、そして「人への投資」の実現に引き続き取り組んでいく。」と全国春闘の状況報告。民間大手部会より新居部会長が「徳島県では7割が中小で働く仲間であり、個人消費を活性化し、景気を力強く回復させる為には、中小の賃上げが必要である。」と激励あ



連合本部から安永副事務局長激励あいさつ



各構成組織から100人が総決起集会に参加

の厳しい企業の春闘交渉も前進していくことにつながる。県内中小と連携・情報交換し取り組んでほしいと提案した。

官公労部会、地場中小からはJAM・交通労連・農協労連・JEC連合・全国一般・UAゼンセンの決意表明を受けた後、徳島県中小労働対策本部の広田幹事が集会アピールを提案し、平井議長の団結ガンバローで終了した。

### 2015平和行動

- \* 「ヒロシマ・ナガサキ被爆、徳島大空襲写真展」  
日時：6月29日(月)～7月3日(金)  
場所：徳島市役所1階国際親善コーナー
- \* 「被爆アオギリ2世」植樹式典  
日時：7月4日(土) 10時～12時  
場所：徳島市幸町公園
- \* タベのつどい  
日時：7月4日(土) 15時30分～17時  
場所：ふれあい健康館
- \* 平和行動 in 沖縄 6月23日(火)～24日(水)
- \* 平和行動 in 広島 8月5日(水)～6日(木)
- \* 平和行動 in 長崎 8月8日(土)～9日(日)
- \* 平和行動 in 根室 9月12日(土)～13日(日)

本年は終戦から70年目の節目の年であり、連合徳島はすべての平和行動で世界の恒久平和の実現に向け、「次世代への継承」をテーマに取り組みを強化する。具体的な日程は以下のとおりであり、積極的にご参加をお願いする。

## 連合徳島は、すべての平和行動へ参加

NPO法人  
徳島労働安全衛生センター

### 『安全・衛生管理者』 第16期養成講座受講生募集

労働安全衛生専門スタッフを養成し、職場における労働安全衛生活動を拡充していくことを目的に、下記開講要綱にて『安全・衛生管理者』第16期養成講座を開講する。

講座修了者は第一種衛生管理者の国家資格取得を目指すこととする。

なお、本講座は、公益社団法人徳島県労働者福祉協議会の労働者福祉事業の一環として、実施されるものである。

申込は6月30日(火)まで。

TEL: 088・623・6362  
FAX: 088・655・4113

### 【カリキュラム】

8月29日(土) 13:00~17:30	○開講式 ・労働衛生(1)	2コマ
9月5日(土) 13:00~17:00	・労働衛生(2)	2コマ
9月12日(土) 13:00~17:00	・労働生理 関係法規(1)	2コマ
9月19日(土) 13:00~17:00	・関係法規(2)	2コマ
9月26日(土) 13:00~17:00	・関係法規(3)	2コマ
10月3日(土)～4日(日)	○国家試験対策集中特訓 ○修了式	

# 第18回統一地方選挙のたたかい

## 連合徳島推薦・支持候補に 対するご支援に感謝!

第18回統一地方選挙は、「働くことを軸とする安心社会」の政策実現に向け、地域での政治勢力の拡大をはかる重要な闘いであった。

結果はご案内の通り、12日に投票開票された徳島県知事選では連合徳島推薦の飯泉氏の圧勝となり、県議選においては推薦・支持候補者7名のうち残念ながら推薦候補

### 知事選

#### 県行政との連携より一層強化へ

飯泉知事は、この間の県政運営において、県民本位のスタンスで「しごとイキイキとくしまづくり」や「安心子育てとくしまづくり」など雇用や子育て支援に積極的に取り組んできた。その観点から連合徳島と関係の深い労働福祉事業団体とも良好な関係にあり、事業内容については県内外から高く評価されている。

連合徳島では、連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」を県内で実現するために、知事と連合徳島の関係は非常に重要であり、特に、連合の示す政策・制度要求実現のために良好な関係による県行政との連携をより一層強化することが必要不可欠であるとの思いから4期目の出馬を決定した飯泉氏を推薦することを機関決定し、組織内への浸透を図ってきた。

3月28日に告示された知事選では、対抗馬が共産党



者1名が僅差で涙をのむという厳しい結果になった。後半戦の徳島市議選、小松島市議選においては、推薦候補者4名全員の当選を果たすことができた。

これまで連合徳島推薦・支持候補者に対し、力強いご支援・ご協力を頂いたことに心より感謝を申し上げます。

### 県議選

#### 推薦・支持候補現有勢力を維持

7選挙区に推薦・支持候補7人を擁立したが、支持候補のうち「鳴門選挙区・黒崎章候補」と「小松島選挙区・長池文武候補」は無投票で当選を果たした。残る5人のうち阿南選挙区で共産党候補者と最後の1議席獲得を争ったが、まことに残念ながら僅か17票差で涙を呑む結果となった。

徳島選挙区では連合徳島推薦で民主党公認の庄野まさひこ候補が6期目にして初めてのトップ当選を果たし、板野選挙区では白木春夫候補が出身労組を中心とした支援組織がフル回転し、5期目の当選を果たした。また、新人として県議選にチャレンジした三好第一選

挙区の高井美穂候補は、三つ巴の激しい選挙戦を労組・後援会が一体となった戦いで見事トップ当選を果たした。さらに、告示間近になつて急きよ支持することになった名西選挙区の山西くにお候補も町長選挙と連動した戦いでトップ当選を果たした。



### 市議選

#### 推薦候補4人 全員当選を果たした

・徳島市議会議員選挙  
連合徳島の3人の推薦候補者は、定数が4議席減るといふ厳しい状況の中それぞれの陣営が危機感をもって選挙に取り組み、投票率が40%を切る状況ではあったが、武知候補、小林候補は前回よりも票を伸ばし、上位当選を果たした。民主党県連幹事を務める加村候補は党の唯一の公認候補や民主党と縁を切つて



急きよ出馬した元県議（次点）に影響を受けて前回から大幅に票を減らしたが、何とか23位で踏みとどまった。

・小松島市議会議員選挙  
連合徳島が推薦した前川英貴候補は全国一般を中心とする支援労組の協力を得て、地道に支持者固めを行い、2回目の当選を果たした。

